

|       |  |
|-------|--|
| 授業の視点 | 作品のおもしろさや表現の工夫について話し合う活動を通して、作品に込められた作者のメッセージや意図をとらえ、自分の表現に生かす学習 |
|-------|--|

第5学年1組 国語科学習指導案

指導者 松本 利子

1 単元名 物語のおもしろさを考えて読み味わおう「注文の多い料理店」

2 目標

- (1) 物語に興味をもち、構成や表現の工夫、登場人物の心情の変化に目を向け、物語のおもしろさを読み取ろうとしている。  
(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 物語の構成や文章表現の工夫、おもしろさを考えながら、登場人物のものの考え方や心情の変化を読み取ることができる。  
(読むこと)
- (3) 物語のおもしろさや表現の工夫が伝わるような効果的なメッセージポスターを書くことができる。  
(書くこと)
- (4) 読む人におもしろいと思わせる表現の工夫や書き方について気付くことができる。  
(伝統的な言語文化に関する事項)

3 単元について

本単元は、作者が工夫を凝らした構成や文章表現などに着目して読むことで、物語のおもしろさを味わうことをねらいとしている。学習指導要領の内容C読むこと(1)エ「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること」および、オ「本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり、深めたりすること」を重点事項としている。本教材は、二人の紳士が娯楽としての狩猟の途中、道に迷い、西洋料理店に入るが、そこで出される様々な注文を、自分たちの都合のよいように解釈し、山猫の術中にはまり食べられそうになるというおかしさを描いている。また、思いもよらぬどんでん返しのおもしろさや意外性、次々に現れる色の異なる扉と不思議な注文という展開が巧みであり、二人の紳士の歯切れのよい会話文と、山猫の注文の言葉を中心に描いていることで、読者が登場人物に容易に同化し、人物のものの考え方や心情を読み取っていくことができる作品である。さらに、生き物の命を何とも思わず、金銭的価値観で物事を判断し、便利さのみを追求する都会生活者への反感と、現代文明社会に対する痛烈な批判がファンタジー仕立てで語られている。風刺とユーモアにあふれる宮沢賢治の文学作品のおもしろさに触れることで、児童の読書の幅を広げることができる考える。

本学級の児童は、朝の読書の時間を楽しみにしており、意欲的に読書活動をしている。また、「世界でいちばんやかましい音」の学習では、4つの基本的な物語の構成をとらえ、中心人物の変化について読み取ることができた。しかし、簡潔なあらすじにまとめたり、登場人物の心情に沿って場面を想像し、自分の言葉で説明したりする力は十分ではない。文章を読み、自分の言葉で表現していく力を育てていくことが必要である。本単元の学習に入る前に、物語を読んだり、本を紹介したりする力について実施した実態調査の結果は次の通りである。

【実態調査】 (平成\*\*年\*月\*日実施 男子\*\*人 女子\*\*人 計\*\*人)

|   |  |
|---|--|
| 1 | 物語文を読むことは好きですか。<br>とても好き(15人) 好き(17人) あまり好きではない(3人) きらい(1人)                  |
| 2 | 読んだ本のおもしろさについて、友達や家族に知らせたいと思いますか。<br>とても思う(13人) 思う(19人) あまり思わない(3人) 思わない(1人) |
| 3 | 400字程度の既習の文章をすらすら音読することができる力<br>すらすら音読できる(18人) 2, 3箇所つかえる(15人) 何度もつかえる(3人)   |
| 4 | 物語を読んで、あらすじをまとめる力(100字程度)<br>できる(29人) 整理して書けない(5人) 自力で書くことができない(2人)          |
| 5 | 自分のおすすめの本に、内容に合ったキャッチコピーを書く力<br>できる(31人) できない(5人)                            |
| 6 | 宮沢賢治が書いた本や詩を読んだことがありますか。<br>ある(21人) ない(15人)                                  |
| 7 | どんな本や詩ですか。(複数回答)<br>雨ニモマケズ(19人) 注文の多い料理店(3人) 雪わたり(1人)                        |

実態調査を見ると本学級の児童の多くは、物語文を読むことが好きであり、読んだ本のおもしろさについて、だれかに伝えたい、紹介したいという思いをもっている。5年の5月に学習した「世界でいちばんやかましい音」では、物語の構成をとらえ、場面の展開に即して人物の変化を読み取る学習を行っ

た。物語の基本的な構成を知り、意欲的に中心人物の変化を読み取ることができた。しかし、指導内容を中心人物の変容に絞り込み過ぎたために、物語の構成や相互の関係についての理解については十分でなかった。また、前年度の学力診断テストの結果を見ると、「叙述に即して読み取ること」の内容に難しさを感じる児童が多く、段落の内容を正確に読み取ることや文の主述関係の理解ができずに、十分な読み取りができない児童もいる。さらに、あらすじをまとめたり、自分の考えや思いを文章に表現したりする活動に苦手意識をもっている児童が見られる。

そこで、指導にあたっては、第1次で、児童の意欲が単元を通して継続できるように、単元全体のめあてを確認するとともに、学習の見通しをもたせるための活動を行う。そして、読み取り後に、作品のおもしろさを、「宮沢賢治からのメッセージポスターに書いて紹介すること」、そのために作品の表現の工夫やおもしろさをとらえることを押さえる。また、賢治の作品に対する理解を深めるために導入で、宮沢賢治をテーマにしたブックトークを教師が行う。賢治の生い立ちやエピソードの紹介を行うことで並行読書への意欲を高めるとともに、数多くの作品を読み、宮沢賢治の考え方やものの見方、表現のおもしろさについて紹介し合うことを知らせておく。その際、「注文の多い料理店」の序文についても紹介し、「作者が作品に込めた思いとは何か」考えることを知らせる。教室に「賢治コーナー」を設定し、並行読書の環境を整える。次に、「物語の構成や表現のくふうについて考えよう」という視点に立った読み取りと作者が読者に伝えるための表現の工夫やおもしろさに気付かせる2つの学習構成で展開する。そして、物語文を読んで、感じたおもしろさを「だれに紹介するのか」目的意識や相手意識を明確にしながらい欲的に学習を進めていくようにする。また、「注文の多い料理店」の他の挿し絵や映像を見せることで、これから学習する賢治の作品についての関心を高める。

第2次では、物語の構成や表現の工夫について読み取る活動を基軸に、本作品を特徴付けているファンタジー性に着目し、現実、非現実、現実という場の設定から、3つの場面に分けて読み、現実、非現実の世界の入口や出口の表現の巧みさを読み取る。次に、読むときの視点を変えたり、扉の言葉に対する山猫の意図と紳士の解釈の違い、作品のおもしろさなどについて話し合う。また、物語の始まりの部分と終わりの部分に描かれている2人の紳士の様子を比較し、変化したところと変化していないところを考えるとともに、最後の一文の意味についても考え、主題について迫る。児童が初めておもしろいと感じた表現や工夫していると思う表現については、内容の読み取りの際に、随時教科書に傍線を引かせるなど、意識させながら進め、「メッセージポスター」の書く活動へとつなげていく。その際、話し合いが深まるように、グループでの学び合いを取り入れるなど、伝え合う活動の場や方法を工夫する。ペア学習やグループ学習の場面では、話し合いの観点を明確に提示し、全体での話し合いの場面では、意図的に指名し、多くの児童の反応を求め、全員参加の話し合いを目指す。

第3次では、メッセージポスターの作り方を確認するとともに、並行読書で読み進めた宮沢賢治の作品のおもしろさや主題について紹介するポスターを描き、互いに交流する。「本を選ぶ」「本の中から表現の工夫やおもしろさを選び出す」「必要な情報を書き出す」「ポスターの構成を考える」「メッセージを要約してまとめる」など、細かいステップで学習する。特に、構成を考え、文章と絵で表現する活動では、「注文の多い料理店」で学んだ作者の表現の工夫やおもしろさが生かされるよう意識して指導していく。

#### 4 学習と評価の計画（10時間取り扱い）

第1次 ブックトークを聞き、学習の見通しをもつ。 . . . . . 2時間

第2次 読みの視点を変えて、物語を読む。 . . . . . 4時間

| 時           | 主な学習活動                                 | 評価の観点 |   |   |   | 評価規準（方法）   |
|-------------|--|-------|---|---|---|--|
|             |  | 関     | 書 | 読 | 伝 |  |
| 第1時         | ・3つの場面に分け、あらすじを読み取る。                   | ○     |   | ◎ | ○ | ・ファンタジーのふしぎな世界という物語の構成に着目しながら読んでいる。<br>(ノート)           |
| 第2時         | ・二人の紳士の性格や戸に書かれた意味について読み取る。            | ○     |   | ◎ |   | ・二人の紳士の人柄や性格、戸の書かれた意味について、叙述を基に捉えている。<br>(ノート)         |
| 第3時         | ・二人の紳士の変化について読み取る。                     |       |   | ◎ |   | ・物語全体を通して、二人の紳士の気持ちの変化を考えながら、読んでいる。<br>(ノート)           |
| 第4時<br>(本時) | ・表現の工夫やおもしろさについて読み取り、作者のメッセージについて読み取る。 |       |   | ◎ |   | ・文章表現の工夫や物語のおもしろさから、作者のメッセージを捉えながら読んでいる。<br>(付箋紙・話し合い) |

第3次 メッセージポスター書く。 . . . . . 4時間

5 本時の学習

(1) 目標

物語の表現の工夫や作品のおもしろさについて話し合う活動を通して、作品のよさや作者のメッセージについて読み取ることができる。

(2) 展開

個に応じた指導(☆進んでいる子 ★遅れがちな子)

◎ゴシック文字は授業の視点に迫るための手だて

| 学 習 活 動・内 容  | 準備・資料   | 支 援 と 評 価   |
|--|---|---|
| <p>1 前時の学習を振り返る。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>表現のくふうや作品のおもしろさを通して、作品のよさや主題について話し合おう。</p> </div> <p>3 学習範囲を音読する。<br/>(1) 音読をする。(各自読み)<br/>・読みの視点に気を付けて読む。</p> <p>4 作品のおもしろさや表現の工夫について考える。<br/>(1) 自分の考えを付箋に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題名がおもしろい。</li> <li>・扉の言葉に二重の意味があることがおもしろい。</li> <li>・不思議な世界観がよい。</li> <li>・自分だったらと読み進めることが楽しかった。</li> <li>・物語の展開がおもしろい。最後のクライマックスがドキドキした。</li> <li>・会話文がテンポよくおもしろい。</li> </ul> <p>(2) グループで話し合う。</p> <p>5 全体で話し合う。<br/>(1) 表現の工夫やおもしろさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題名の工夫</li> <li>・人物像</li> <li>・構成や展開</li> <li>・山場</li> <li>・会話文</li> <li>・語り口調</li> <li>・繰り返し表現</li> <li>・色彩を表す言葉の使い方</li> </ul> <p>(2) 作者のメッセージ</p> <p>6 本時学習を振り返り、次時の学習を知る。</p> | <p>学習計画表<br/>挿し絵</p> <p>付箋紙</p> <p>色彩カード</p> <p>ホワイト用紙</p> <p>話し合いの流れ</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習を振り返り、これまでの山猫と紳士の考えのずれについてまとめた資料を提示し、本時の学習の意欲付けをする。</li> <li>・注文した山猫の思いを想起させ、料理の注文が味付けへと変わっていることを理解する。</li> <li>・作品の面白さと作者の意図について考えることを確認する。</li> <li>・おもしろいと思った理由について話し合うことを助言する。</li> <li>・各自おもしろいと感じる場面を音読する。</li> <li>・各自がとらえた表現に対して、「作者のどんな意図が込められてのか」といった視点も合わせて、自分なりの解釈をまとめさせる。</li> <li>◎作品のよさやおもしろさを発見する活動を通して、作者の意図について考えるようにする。</li> <li>★作者の意図が見付けられない児童には、読んだ感想から、どこがおもしろかったのか、書かれている場面を見付けるように助言する。</li> <li>★気付かない児童には、色彩と言葉との関係に着目するよう助言する。色カードを実際に見せることにより、山猫軒のもつ恐怖のイメージを想起させる。</li> <li>☆物語のおもしろさの秘密の一つに情景描写があることに気付かせたい。</li> <li>・付箋を動かしながら、分類し、視点を明確にする。</li> <li>・表現の工夫やおもしろさで共通する話題について、全体で考えを交流し、読みを深め合うようにする。</li> <li>・最後まで気付かない紳士たちよりも、山猫の味方をして読み進めてしまう理由を考える。</li> <li>・作者のメッセージとは何か、なぜ、紳士のしわを元に戻さなかったのか、考えさせたい。</li> <li>◎文章表現の工夫や物語のおもしろさから、作者のメッセージを捉えながら読んでいる。(付箋紙、話し合い)</li> <li>・次の時間は、メッセージポスターを書くことを知らせ、意欲を高める。</li> </ul> |